

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students

プロフィール

氏名	小西佑理香
所属	商学部
学年	1年
留学先	パンヤピワット経営大学
留学期間	2023/2/5~2023/2/11



留学レポート Study Abroad Report

・プログラムの名前は Agriculture Exchange Program in Thailand、内容は農業ビジネスを学ぶこと、丁度 1 週間のプログラムでした。

・参加者は大阪公立大学から 3 人、インドネシアのスラバヤ大学から 3 人、タイのパンヤピワット経営大学から 3 人でした。これに加えて、現地の他の学生も受講しているパンヤピワット経営大学の講義に一度参加しました。

・宿泊費、研修費は負担していません。自己負担は飛行機代、保険代、食費、現地での交通費でした。しかし食費と現地での交通費に関して、ほとんどをタイの大学が負担してくれました。結局タイでは日本円で 2 万円ほどしか使いませんでした。



・タイではクレジットカードが使えないお店も多かったですが、チップ文化もありますが、かなり緩いというか、基本的には値段通りぴったり支払っていました。お釣りが中途半端だったら断ったりしたぐらいです。

・コミュニケーションは英語でするしかありませんが、日本人もインドネシア人もタイ人ももちろんネイティブではないので難しい場面もありました。しかしスマホがあれば全て大丈夫。プログラムの 1 週間で、参加者みんな英語が上達したように感じました。インドネシアの方々も元々英語がとても上手でした。

・元々英語トレーニングの為にプログラムではありませんし、当たり前ですが、英語が目的の方は英語圏に行くのがいいと思います。

・日本語、タイ語、インドネシア語を教え合ったのが楽しかったです。

・大学の場所はバンコクの隣のノンタブリー県で、気軽にバンコクに行くことができ、1 週間の間に何度もバンコクに行きました。

・滞在場所のホテルは大学から徒歩 3 分のところにあり、近くにコンビニ、コインランドリー、小さなマーケット、大きなショッピングモールがあり、不自由なく楽しく過ごしました。ホテルはアメニティがかなり少なかったですが、快適に過ごしました。何か足りない物があっても、何でも調達できたと思います。

・治安が悪いと感じることもありませんでした。タイの人たちも歩きスマホをしていたり、タクシーのおじさん等のタイの人たちも穏やかで親切な人ばかりでした。もちろん観光地でスリやぼったくりに注意する必要があります。

・タイ料理はスパイシーで結構刺激が強く、とても美味しかったです。ココナッツを大量に食べます。1 週間美味しいタイ料理が食べられて幸せでした。2 日に 1 回ぐらいはお腹を壊しました。



・タイ料理以外もたくさん売っていますし、刺激が強いと思ったときはコンビニでパンを買ったりしました。

・大学では、講義に参加したり、農業ビジネスの先生方のお話を聞いたりしました。田舎のほうにあるレモン農場とココナッツ農場を訪れ、オリジナル製品やシステム化された農場経営について知りました。

・農場経営者の方のお話を聞き、たくさん質問できました。

・課外活動では、現地の学生にナイトマーケット、バンコクの大きな公園とマーケットを案内してもらったり、プログラムの参加者と現地の大学のスタッフの方と一緒に有名な寺院、ショッピングモール、タイの伝統的なショーを見に行きました。

・一度日本人だけでバンコクを観光して、タクシーでホテルに戻ったことがありました。タクシーを配車するのに苦労しましたが、最終的に現地の大学のスタッフの方に電話して安心して利用できました。何かあったときに助けてくれる現地の方がいることは本当に貴重でありがたいことでした。

・常に現地のスタッフの方や学生が案内してくれました。お店での注文など、全てすごく親切にしてくださいました。

・修了して思うことは、まず本当にタイの方が穏やかで親切で、何でもしてくれた現地のスタッフの方と学生には感謝してもしきれないということです。有名な観光地にもたくさん訪れ、大都市バンコクにも、遠方の農場にも行くことができ、タイを満喫できました。

